2026 年 7 月 2 日作成（第 2 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学医療人育成・支援センターでは、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

２０２４年7月

福島県立医科大学医療人育成・支援センター　青木俊太郎

■ 研究課題名

医療模擬面接実施時の医学部生のコミュニケーション技能と自信に関連する因子の検討

■ 研究期間

２０２４年6月　～　２０２９年6月

■ 研究の目的・意義

現在、医学生の面接技能やコミュニケーション技能の向上の必要性が指摘されています。このような点に対して、模擬患者（Simulated Patient: SP）を利用した模擬面接を医学教育の段階で実施することによって、実際の診療場面を想定した面接技能やコミュニケーション技能が向上することが期待できます。医療人育成・支援センター（以下、当センター）では、医学部臨床実習（Bed Side Learning: BSL）の中で模擬面接の実習を展開しています。

模擬面接を行うことで面接技能やコミュニケーション技能が向上する学生がいる一方で、面接技能やコミュニケーション技能が向上しにくい学生がいることも容易に想像できます。しかしながら、面接技能やコミュニケーション技能が向上しにくい学生の特徴は明らかにされていません。

当センターの BSL では、学生の模擬面接を行う際に、面接の様子や面接後のディスカッションのビデオ撮影を通じて、医療面接実習の適正実施に努めています。そのため、上述した測定指標は、現在行っている授業内容から継続的に得ることができる状態にあります。

本研究の目的は、SP との医療面接（模擬面接）における学生・教員・SP の評価と動画による評価を用いて、模擬面接によって効果が得られにくい学生の特徴を検討することです。なお、本研究課題は「一般 30299 医学部生のコミュニケーション技能と自身に関連する因子の検討」にて取得したデータを引き継ぎ、追加でデータを取得する研究です。

■ 研究対象となる方

1 当センターの医療面接実習に参加した学生

2 本研究の参加について同意した学生
3 先行研究の「一般 30299 医学部生のコミュニケーション技能と自身に関連する因子の検討」に同意し参加された学生が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方が本実習中にご記入いただいたアンケート、SP さんや教員による評価、実習中に撮影された動画についてデータを収集します。取得したデータを ID に置き換えたうえで、統計解析や成果公表を行います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

２０２４年７月１日

■ 研究組織

この研究は福島県立医科大学医療人育成・支援センターを中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木弘行であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

【研究組織】

研究代表者	福島県立医科大学医療人育成・支援センター　助教　青木俊太郎
共同研究機関 研究責任者	東京科学大学 M&D データ科学センター　教授　朱　欣

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

当大学を含めた研究機関等の情報は研究 ID を付与した状態で USB などの情報記録媒体を用いて共同研究機関へ送られます。研究代表者はデータ解析のため共同研究機関に必要に応じて情報を共有します。なお、個人情報提供を行う際の当施設における管理者は、福島県立医科大学学長鈴木弘行です。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益

が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

＜研究代表機関＞
960-1295　福島市光が丘 1 番地
福島県立医科大学　医療人育成・支援センター　担当者：青木俊太郎
電話：027-547-1714　FAX：027-547-1714
e-mail：igakukyo@fmu.ac.jp